

3月3日(月)

み 恵 み と 力

\*\*\*\*\*  
 今日 の 力  
 \*\*\*\*\*

2025年3月3日 ～ 3月9日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています  
 ※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 コリント人への手紙 第二 12:7~10

しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現れるからである」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。

コリントII 12:9

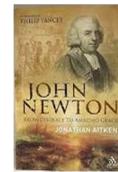
数年前のことですが、『今日の力』への寄稿の締切に間に合わなかったことがあります。編集者に謝ろうと電話すると、彼女は「ご心配にはおよびません。《今日の力》(Power)では締切時間に余裕(Grace)持たせてありますから。」と言いました。それ以来、“御力(Power)には大いなる恵み(Grace)がある”というのが私のお気に入りの言葉になりました。本当に神様は恵みに満ちた御力をお持ちです。今日の聖書朗読のテーマになるかもしれないとひらめきました。

長い献身生活の後、私はようやく恵みについて多くを知るようになりました。最初のうちには、私たちは行いによるのではなく、神様の恵みによって救われたという事実には驚き夢中になりました。でも、何年か経って、今日の朗読箇所で神様がパウロに語っておられる恵みを理解できるようになりました。今では、神様が備えてくださる恵みに驚き夢中になっています。この恵みによって、私たちは人生の茨の道を毎日乗り切ることができるのです。私は今までに何度も何度も、神様には恵みと力があふれていると確認してきました。

くるしみなやみも くしきめぐみ

まよふまでまもりし 主にぞまかせん

—ジョン ニュートン詞 《アメージング・グレース》



讚美歌第二篇 167 われをもすくいし

祈り お父様、日々、与えてくださるみ恵みと力をありがとうございます。あなたのみ恵みと力を私がどんなに必要としているか、あなたはご存じです。イエス様のお名前によって。アーメン。

ネバダ州 カーソンシティ / ブルースM・ヘンダーソン

3月4日（火）

## 大いなる祝福

聖書朗読 ガラテヤ人への手紙 3：1～9

ヤベツはイスラエルの神に呼ばわって言った。「私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように。御手が私とともにあり、わざわいから遠ざけて私が苦しむことのないようにしてくださいますように。」そこで神は彼の願ったことをかなえられた。 歴代誌 I 4：10

誰かがくしゃみをする時、“おだいじに”（Bless you!）という言葉が聞こえます。私たちが聖書から学んだことは、祝福（Bless）というのは、現在から未来にわたって愛と成功と繁栄を授けてくださるといふ神様の約束です。くしゃみの時のお見舞いよりもはるかに大きなものです。

今日の聖書朗読で、ヤベツは“悲しみ”という意味の名前であるにもかかわらず、領土拡張という神様からの祝福をいただきました。彼のりっぱな生活ゆえに、神様はヤベツの求めに応じて、彼を祝福され、その願ったことをかなえられました。

新約聖書は『信仰によって』得られる霊的祝福に重きを置きます。ガラテヤ人への手紙でパウロはクリスチャンたちに、『このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。』（ガラテヤ 3：14）と注意しています。

神様からの祝福が身体的なものであれ霊的なものであれ、私たちはそれが信仰によるものであることを知っています。私たちの人生を分かち合うこと、例えば何か物品を与えることで、他の人たちを祝福することができる時、私たちもまた祝福されます。あらゆる恵みといつくしみに満ちた神様を知っていることを感謝します。今度、誰かが“おだいじに”と言うのを聞いたら、私たちの人生を心から祝福しようとされている神様のことを思い出しましょう。神様の祝福がありますように。

聖歌 273 いのちのいずみに

祈り 神様、御名をほめたたえます。私たちがあなたにもっと近づけるように、赦し助けてください、そして、他の人々への祝福となることができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ノースカロライナ州 ローリー / キャロリン・イエーツ

3月5日（水）

## 力ある神の武具

聖書朗読 エペソ人への手紙 6：10～20

終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。

エペソ 6：10

日曜の早朝のことです。仕事が遅れていて、取り戻そうとして、夜明けに教会事務所に行きました。準備を済ませてから、急いで家に帰り、シャワーを浴び、髭を剃り、身支度を整えるつもりでした。家に帰る途中、あの紛れもない春の臭いに気付きました。「スカンクだ!」と私は声に出して言いました。けれども、その臭いは運転している間ずっと残っていました。家の前の道に着くと、衝撃的な事実が明らかになりました。着ている服を嗅いでみて確証を得ました。スカンクの正体は私だったのです!

人生において、自分が問題なのだということがよくあるのを認めなければなりません。物事がうまく行かないのは私のせいです。私が人生のじゃま物なのです。私は弱くて、要するに、スカンクなのです。

でも、主の武具を身に着ければ別です。クリスチャン生活という戦いを遂行し続けるうちに、真理・義・福音・信仰・救い・神のみことば・祈りが私を強めてくれました。その強さは自己啓発によって得られたものではありません。神様と神様のみことばとの親しい関係によるものです。預言者イザヤとともに喜んで叫びます。『私は主に尊ばれ、私の神は私の力となられた。—』（イザヤ 49：5）

教会福音讃美歌 359 私の望みは

祈り お父様、弱い私に、私の力はどこにあるのかをお示してください。イエス様のお名前によって。アーメン。



ネバダ州 カーソンシティ / ブルース M・ヘンダーソン

3月6日（木）

## 感謝を表す

聖書朗読 コロサイ人への手紙 1：1～11

あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。 コロサイ 3：17

感謝についての記事を書くのであれば、自ら書くことを実践しなければなりません。感謝というものは口頭もしくは文書で表されて初めて有効です。感謝は日々実践しなければなりません。

感謝とは、人生を神様の目を通して見ることです。つまり、不平を言うことや、あら探しや、否定的な思考様式を捨てることを意味します。感謝の気持ちを持つと、私たちは自我を捨てて、もっと親切で寛容になろうと努力するようになり、そのような想いを他の人々に見せようとしています。

感謝は行いに表れ、人々と分かち合うものです。小さな親切の方法を探してみましょ。う。神様からの恵みを数えることから始めて、それを人々と分かち合おうと心に決めましよう。今、寝たきりになっている親しい友だちがいるのですが、彼女は遠方に住んでいます。どうにかして彼女の人生に祝福をもたらしたいと一生懸命考えました。時々電話して、信仰生活の上で役に立つメッセージを分かち合うことにしました。短い電話のやり取りで二人とも恵まれました。イエス様にある素晴らしい交わりです。

*恩恵は感謝の始まりです。感謝は恩恵の完成です。*

*恩恵は単なる言葉だけでも表されます。感謝は行動で示されます。*

—アンリ・フレデリック・アミエル\*

(\*訳注：スイスの哲学者・詩人・批評家 1821-1881)

讃美歌

祈り 聖なる、いつくしみ深いお父様、あなたの道を守り、この世の謀り事を避けることができますように。イエス様によって。アーメン。

テキサス州 ハイランド・ヴィレッジ / ラリー・ケイン

3月7日（金）

## サプライズ！

聖書朗読 テサロニケ人への手紙 第一 5：1～11

ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。 マタイ 24：36

びっくり！ 愛する義母からの電話に驚き大喜びしました。私たちの長男の卒業式が義父母の金婚式（訳注：50年目の結婚記念日）と同じ日だというのです。卒業式と金婚式の両方を祝うために、7日間のクルーズ旅行に行きたいと言います。何て素晴らしい驚きでしょう！

その日、その時が訪れて、キリストが御使いたちとともに再び現れる時の素晴らしい驚きには比べようもありません。夜間に襲って来る盗人に例えられるほどの驚きです。一体どんな驚きなのでしょう。最上の驚きです。人生の問題はすべて終わったのですから。もはや苦しみもなく、悲しみもなく、この世の生活の挫折もありません。

王であられるイエス様が正しく御使いたちを従えて君臨していらっしゃるのを見ましよう。その瞬間、私たちが何を見、どう感じるかを想像してみてください。イエス様の再臨を覚え互いに慰め合いましよう。日々の歩みで立ち止まって、より大きな見地に立つ必要があります。その日、その時の到来はサプライズですが、イエス様の再臨と、その時、何が起きるかは示されています。神様のみことばにあるお約束によって、私たちは慰めを得ます。

讃美歌

祈り 天のお父様、やがて起こることに関する御言葉の約束を感謝します。イエス様の再臨がいつであるかは誰も知りません。でも、私たちは、イエス様が再びいらした時、何が起こるかを知っています。私たちはこの素晴らしい知らせを喜んでいますが、あなたの民である私たちにとっては、この世の悩み・悲しみからの解放を意味するからです。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ジョッシュ・バーネット

3月8日（土）

## 決して見捨てられない

聖書朗読 テモテへの手紙 第二 4:16～18

主はわが巖、わがとりで、わが救い主、身を避けるわが岩、わが神。わが盾、わが救いの角、わがやぐら。 詩篇 18:2

『みな私を見捨ててしまいました。』何と痛ましい言葉でしょう。パウロはテモテに、『最初の弁明の際には（おそらくカイザルの法廷で）、私を支持する者はだれもな』かったと書いています。彼は孤立無援だったのでしょうか。いいえ、主が傍におられ、支えておられました。神様が守ってくださるので、決して見捨てられないとパウロは確信していました。

結局、この書簡を書いたすぐ後でパウロは処刑されました。神様に対するパウロの信頼は誤っていたのでしょうか。いいえ、パウロは、どんな被造物もキリスト・イエスにある神の愛から彼を引き離すことはできないと知っていました。パウロは福音を宣べ伝えるために、神様が彼をお用いになろうとされる限り、恐れるものは何もないと確信していました。彼はすでにテモテに『走るべき道のりを走り終え』たと告げていました。（テモテⅡ 4:6～7）死ぬ時が近いことを承知しながら、疑いも不安もありませんでした。彼の希望はまさに巖なるイエス様にありました。

この世の他の何もかも、私たちがイエス・キリストにあって与えられているような安心を与えてはくれません。私たちはイエス様のために生き、イエス様のために死に、イエス様とともに永遠に生きるのです。キリストにあって、私たちは見捨てられることはありません。イエス様がともにおられますから、私たちは決してひとりぼっちではありません。

讃美歌 280 わが身ののぞみは

祈り 神様、あなたがいつも私たちとともにいてくださると知るの素晴らしいことです。あなたのうちのみ見出せる安心をありがとうございます。恐れや不安から解放し、苦しみの時にこそ信仰を増してください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ブレントウッド / アール D・ラヴェンダー

3月9日（日）

## 野の花

聖書朗読 ペテロの手紙 第一 1:22～25

「人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。」 ペテロⅠ 1:24～25a

野の花が咲き誇る春でした。何も生えていなかった山腹が青や紫の花で覆われ、牧草地は山吹色に染められ、道端は紫・紅・ピンクの迷路のようでした。神様のみわざを目の前にして、私は畏敬の念をもって立ち尽くしました。聞いてくれる人誰にでも野の花の美しさを示し、永遠に枯れないようにする力があればいいのと思いました。でも、私は、草の花はすぐに枯れてしまうことを知っていました。

預言者イザヤに「呼ばわれ」と言う者の声がします。（イザヤ 40:6）イザヤは「何と呼ばわりましょう」と答えます。『「すべての人は草、その栄光は、みな野の花のようだ。主のいぶきがその上に吹くと、草は枯れ、花はしぼむ。まことに、民は草だ。草は枯れ、花はしぼむ。だが、私たちの神のことばは永遠に立つ。」』（イザヤ 40:6～8）

人の栄光もまた短いものです。でも、私には神様のみことばの力を得ることができます。その御力によって私たちは永遠に生きることができます。野の花を指差し、その美しさを知ってもらいたいと思うのと同じくらい、福音を分かち合いたいと切に思わずにはいられません。

讃美歌

祈り お父様、迷える人々への愛をお与えください。あなたのみことばの使者、福音を伝える者としてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 オースティン / ジョイス・ハーディン

